



東海ノア  
(東海 NOAH)



第63号 (平成28年3月発行)  
東海ノア協定事務局  
(原子力機構・原子力科学研究所内)  
TEL : 029-282-5801  
E-mail : [t-noah@jaea.go.jp](mailto:t-noah@jaea.go.jp)  
URL : <http://tnoah.jaea.go.jp/>

東海ノア通信第63号をお届けします。

東海ノア協定では、加盟事業所の皆様方との相互協力をもとに、積極的に協力活動を進めていきたいと考えています。東海ノア通信では、こうした日頃の協力活動をよりわかりやすく皆さまに紹介しています。

なお、東海ノア協定に基づく活動状況は、ホームページでも紹介しています。

アドレスは、<http://tnoah.jaea.go.jp/> です。

## 〔トピックス〕

### ☆活動状況

- 安全協力委員会の開催状況
- 活動推進幹事会の開催状況
- 安全教育に係る協力活動
- 情報等の交換に係る協力活動

### ☆加盟事業所からの事業所紹介

### ☆役員等の変更

#### 東海 NOAH :

「東海」東海村、「N」那珂市、「O」大洗町、「A」旭村（現銚田市）、「H」ひたちなか市

## ☆活動状況

### 安全協力委員会の開催状況

#### ○第34回安全協力委員会

〔開催日〕 平成28年3月24日（木）

〔開催場所〕 原子力機構 原子力科学研究所

〔議題〕

- (1) 第33回安全協力委員会議事録について
- (2) 平成27年度活動状況報告について
- (3) 平成28年度年間活動基本計画（案）について
- (4) 原子力事業所安全協力協定の読み替え等について（案）
- (5) 原子力事業所間の緊急事態対応について（報告）
- (6) 協定加盟事業所の近況について
- (7) その他

第34回安全協力委員会では、議題（3）により平成28年度年間活動基本計画（案）についての審議がなされ、原案通りで承認されたことから、原子力事業所安全協力協定に基づく平成28年度の協力活動は、本基本計画に沿って進めていくこととなりました。また議題（4）により、原子力機構 那珂核融合研究所が量子科学技術研究開発機構に統合されることに伴う協定上の取扱いについては、那珂研の組織変更手続き等が決定されるまで保留とすることで了承されました。



第34回 安全協力委員会の様子

## 活動推進幹事会の開催状況

### ○第74回活動推進幹事会

〔開催日〕 平成28年3月11日（金）

〔開催場所〕 原子力機構 原子力科学研究所

〔議題〕

- (1) 第73回活動推進幹事会議事録について
- (2) 平成27年度活動状況報告（案）について
- (3) 平成28年度年間活動基本計画（案）について
- (4) 東海ノア通信第63号の発行について
- (5) その他

第74回活動推進幹事会では、議題（2）及び（3）により平成27年度活動状況報告（案）及び平成28年度年間活動基本計画（案）についての審議がなされ承認されました。よって、平成28年3月に開催予定の第34回安全協力委員会において、平成27年度活動状況を報告するとともに平成28年度年間活動基本計画（案）について審議いただくこととなりました。



第74回 活動推進幹事会の様子

## 安全教育に係る協力活動

### ○安全教育研修会の開催

平成28年2月2日（火）、東海ノア協定に基づく平成27年度第2回安全教育研修会が、日本原子力発電（株）東海総合研修センターを会場に、協定加盟4事業所から12名の参加で、開催することができました。

研修は、東海第二の新規制基準への対応状況等の講話に引き続き、「身の周りの放射線測定体験」を実習しました。そして、フルスコープシミュレータ建屋では、炉心溶融の実習を体験した後、普通では見学することの出来ない東海第二発電所の中央制御室の実寸モデルを見学し、地震が発生したことによる警報パネルの点灯、電源喪失による室内照明の消灯などを体験しました。

研修後に実施したアンケートでは、実習のシミュレータ運転体験は専門的過ぎる、日程が短過ぎるとのご意見もありましたが、概ね良好であったと評価しております。カリキュラム見直しに関するご意見もあり参考にさせていただき、今後も開催を継続していく所存です。

#### 〔研修会概要〕

【講 話】 東海第二発電所の近況について（東海発電所の概要）

【実習①】 身の周りの放射線測定体験

【実習②】 シミュレーターによる運転体験

【見 学】 東海第二発電所フルスコープシミュレータ

#### 【研修風景】



講話「東海第二発電所の近況について」



実習「身の周りの放射線測定体験」



実習「シミュレーターによる運転体験」

## ○メンタルヘルス講演会の開催

原子力機構原子力科学研究所において、「平成27年度 心の健康づくり実施計画」に基づき、2月17日、産業医の高尾 哲也先生を講師に、「働く人の心のセルフケア」と題する防災講演会が、原子力科学研究所の大講堂において開催されました。

講演会には127名の方々が聴講され、東海ノア協定加盟事業所からは、4事業所から8名の方が参加されました。

講演会では、最初に自分の健康は自分で守ることを理解し、必要な知識・技法を

身に付けて、日常生活で積極的に実施できることがセルフケアの基本であり、ストレスの気付きと、対処及び自発的な健康相談という基礎知識を学ぶことが必要であるとの説明がありました。次に、ストレス反応に気付き、それを解消するストレスマネジメントが大切であること、ストレス解消法としてのストレッチ、適度な運動や快適な睡眠などが紹介され、相談窓口は沢山あること等について説明されました。最後に「働くことの位置付けを考える事こそが一番のセルフケアになると考える」ということで、締めくくられました。



〔講演会の様子〕

## 情報等の交換に係る協力活動

### ○事故、トラブル情報等の交換

原子力事業所安全協力協定に基づき、協定加盟事業所の事故・トラブル情報について、プレス発表された以下の1件の情報提供を協定加盟全事業所に配信を行いました。(対象期間：平成27年9月～平成28年3月)

#### 〈プレス発表された事故、トラブル関連情報〉

事業所	事象発生日	件名
ニュークリア・デベロップメント株式会社	平成27年 12月17日	燃料ホットラボ施設での火災について

### ○協定加盟事業所総合訓練等の見学会

#### 1) 協定加盟事業所総合訓練見学会

〔開催日〕 平成28年1月27日(水)

〔場 所〕 日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター

〔見学会参加者〕

協定加盟3事業所から3名が参加

〔訓練名〕 大洗研究開発センター総合訓練

平成28年1月27日(水)、日本原子力研究開発機構大洗研究開発センタ

ーにおいて、総合訓練が行われ、協定加盟事業所からは3名（3事業所）の方が見学に参加されました。

この訓練は、茨城県沖を震源とする大規模地震（地震規模M7：大洗町震度6弱）が発生し、センター内複数施設が同時被災し、送電線に被害が生じて商用電源が全て喪失したが、非常用電源系統は正常に起動したと仮定し、対象施設の「常陽」では強制冷却機能喪失や管理区域内負傷者の緊急被ばく医療等を、また廃棄物管理施設β・γ固体処理棟Ⅲでは放射性物質の異常放出及び管理区域内火災を想定して、開催されました。



訓練概要等  
事前説明風景



現地対策本部



プレス対応訓練

## 2) 緊急被ばく医療関連情報連絡会

茨城県が主催する医療機関、原子力事業所及び緊急搬送関係者間等の緊急被ばく医療に関する相互理解を推進するための緊急被ばく医療関連情報連絡会について、協力依頼を受けて、加盟事業所への開催案内を行い、事業所からの参加者を募り参加しました。

### ◎ 緊急被ばく医療関連情報連絡会講演

〔開催日〕 平成28年2月5日（金）

〔場所〕 いばらき量子ビーム研究センター

東海村研究交流プラザ

〔演題〕 「放射線の健康影響

～チェルノブイリから福島原発事故の経験から～」



を担当しています。また、安全衛生委員会がこの中心的な役割を担っています。

安全衛生委員会で、毎年年末までに、その年の安全衛生活動の総括を行ったうえで次年の安全衛生管理計画を策定し、社長がこの内容を年初の朝礼で周知します。ちなみに本年の基本方針は、『変化点における早期リスク対応の徹底と、協力会社も含めたコミュニケーションの活性化を図り、快適な災害ゼロ職場を目指そう。』となっています。

安全衛生に関する具体的な取り組みは、それぞれのグループのレベルへブレイクダウンされ、年間スケジュールに従った取り組みがなされるほか、随時他社の災害事例等に基づく水平展開、チェックなどが行われております。

安全教育については、全従業員を対象とした教育や放射線業務従事者を対象とした教育を、定期的に行っています。教育の内容は、臨界管理、汚染管理、被ばく管理、核物質防護、防火管理、リスクマネジメント、倫理教育などです。これらの教育では、教育終了時に受講者の理解度を確認するためのテストを行い、その結果を次回以降の教育内容に反映させるようにしています。

また、労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)を導入し、リスクの抽出・対策計画・実施・確認を行い、本質安全化を目指したリスクの削減及び低減化を計っています。

そして知識だけでなく、より実体験に近い学びを意識し、社員は現場で起こる労働災害を疑似体験できる装置を利用した体感型研修、ひたちなかの安全運転中央研修所の安全運転研修を全員の受講を義務付けております。

最後に、現在弊社では、生産活動はしておりませんが、与えられた役割について、安全を第一に、真摯に確実に行うべく、全従業員が意識の高揚を計りながら、日々の作業を行っています。今後とも、地域の皆様ならびに東海ノア協定加盟事業所の方々のご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(問合せ先) 東海事業所 総務グループ  
029-287-0511

## ☆役員等の変更

### 安全協力委員会〔平成28年1月1日付〕

	(新)	(旧)
委員	南原 亨 積水メディカル株式会社 創薬支援事業部 創薬支援センター長	二宮 真一 積水メディカル株式会社 薬物動態研究所長

以上

## 〔編集後記〕

今年も、水戸の偕楽園では「第120回 水戸の梅まつり」が、2月20日から3月31日かけて開催されています。水戸偕楽園の開花状況は、3月1日現在、約78%とのこと。

近隣市町村では、那珂市の「那珂のひなまつり」が1月30日から3月6日まで開催されました。大洗町では「大洗春まつり海楽フェスタ及び花火大会」が3月20日に開催されました。東海村では「第27回 東海さくらまつり」が3月25日から4月10日に、水戸市では「水戸の桜まつり」が4月1日から15日にかけて開催される予定です。

春爛漫の中、穏やかに楽しみましょう。

東海ノア通信の目的である「情報の交換・共有化」を行いながら、皆様の参考となるよう更に充実図っていきたいと考えています。事務局へのご要望等がございましたら、忌憚のないご意見をお寄せ下さい。

### 水戸梅まつり



(水戸観光協会 HP  
第120回記念水戸の梅まつりより転載)

### 那珂雛まつり



(那珂市観光協会 HP  
那珂のひなまつりより転載)

東海ノア通信

東海ノア  
(東海 NOAH)

